

し尿処理方式	
し尿処理方式の分類	生物処理 化学処理 土壌処理 乾燥・焼却処理 コンポスト処理 その他（ ）
実証申請者	
環境技術開発者	
実証機関	

## 1. 対象技術の概要

し尿処理フロー および技術概要 (し尿処理フロー に沿って、工程毎の 処理・役割を記入下 さい。)	
--	--

トイレし尿処理装置の写真

トイレし尿処理装置の写真

## 2. 実証試験の概要

### 2-1. 実証試験期間

試験期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
越冬試験の有無	

### 2-2. 実証試験場所の概要

トイレ名称	
所在地住所	
所在山岳地（設置場所の標高）	（山岳名： ）（標高： m）
トイレ設置者	
トイレ管理の委託先	

### 2-3. 実証試験場所の条件

自然条件	気温	最高： 、最低： 、平均：
	雨量	mm ~ mm / 年
	積雪状況	平均 m
インフラ条件	搬出入手段	
	電力供給方法	
	給水方法	
利用条件	供用開始日	平成 年 月 日
	使用期間	月 ~ 月
	冬期閉鎖期間	月 ~ 月

トイレ外観写真  
(トイレ周辺含む)

トイレブース内写真

2 - 4 . 実証対象技術の仕様及び処理能力（実証申請者自身の記載にもとづく）

装置名称		
設置面積	W.          mm × D.          mm × H.          mm	(          m <sup>2</sup> )
便器穴数	男(大          穴、小          穴)、女(          穴)	
処理能力	稼動条件	
	利用人数 (設計規模)	平常時：          人回/日 利用集中時：          人回/日
	必要水量	
	消費電力量	kWh/月
	消費燃料量	燃料の種類：          、消費量：
	適正稼動可能気温	~
	その他	
	維持管理性	
	日常管理	人          分
	専門管理	人          分
	発生物搬出量・頻度	
	ランニングコスト	約          円/年 (主な内容：          )
	その他	
	快適性	
	臭気(トイレ室内)	
	洗浄水色	
	操作性	
	その他	
	処理性能	
	循環水	
	汚泥	
	カクズ・杉チップ等	
	焼却灰・炭化物等	
	排ガス等	
	その他	

### 3 . 実証試験結果

#### 3 - 1 . 稼働条件・状況

項目	実証結果
利用状況	利用集中設定時期： 月 日 ~ 月 日
	集中時： 最高 人/日、平均 人/日
	平常時： 最高 人/日、平均 人/日
消費水量	初期水量： 補充水量：
消費電力	kWh/月
気温	最高： 、最低： 、平均：

#### 3 - 2 . 維持管理性能

項目	実証結果		
	1回あたりの作業量 (所要人員・時間)	実施頻度	作業性
日常管理	( 人) ( 分)		
専門管理	( 人) ( 分)		
開閉山対応	開山時 ( 人) ( 分) 閉山時 ( 人) ( 分)		
発生物の搬出 及び処理処分	( 人) ( 分)	回	
トラブル対応	( 人) ( 分)	回	
マニュアルの 信頼性			

### 3 - 3 . 室内環境

項目	実証結果
温度	最高：           、最低：           、平均：
湿度	最高：           %、最低：           %、平均：           %
許容範囲	快適性
	操作性

### 3 - 4 . 周辺環境への影響

項目	実証結果
土地改変状況	
周辺土壌	

3 - 5 . 処理性能

分類項目	試料採取場所	実証項目	実証結果			データ範囲
			分析結果 (平均値)			
			平常時 (集中前)	集中時	平常時 (集中後)	
循環水		pH				~
		TOC				~
		...				~
		考察				
汚泥		pH				~
		蒸発残留物				~
		...				~
		考察				
オガクズ・ 杉チップ等		蒸発残留物 及び含水率				~
		強熱減量				~
		...				~
		考察				
焼却灰・ 炭化物等		蒸発残留物				~
		強熱減量				~
		...				~
		考察				
排ガス等		アンモニア				~
		硫化水素				~
		考察				
単位装置の 稼動状況		考察				

## 利用者数グラフ

実証期間中の利用者数をグラフ化する。

横軸に時間軸、縦軸に利用者数とする。

利用者数は月毎の総利用者数を棒グラフで示すと同時に、累積数を折れ線グラフで同一グラフ上に示す。

利用集中時と平常時が区別できるようにする。

また、汲み取りやトラブル等が生じた場合は、その時点が分かるようにする。

## 分析項目グラフ

前頁で記載した処理性能分類項目ごとにグラフを作成する。ただし、分類項目ごとに特筆すべき分析項目のみをピックアップしてグラフ化する。ただし、関連性が高い項目がある場合は同一グラフに併記する。

横軸に時間軸、縦軸に分析数値とする。

## 4.まとめ